

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●宝塚記念でラブリーデイがG I 初制覇

6月28日(日)の3回阪神8日・第11レースとしておこなわれた宝塚記念(G I)ではラブリーデイ(牡5歳/栗東・池江泰寿厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。今年のラブリーデイのJRA重賞成績は中山金杯、京都記念、鳴尾記念と合わせて4勝目となり、これは単独1位の数字。同馬の父キングカメハメハの本年JRA重賞11勝目、池江泰寿調教師の7勝目も単独1位で、川田将雅騎手(栗東・フリー)は6勝目で1位タイとなっています。また3着までを関西馬が独占(2着デニムアンドルビー、3着ショウナンパンドラ)し、関西馬の1~3着は5年連続28回目のこととなります。

●二冠馬ドゥラメンテが故障

今春、皐月賞(G I)と東京優駿(日本ダービー/G I)の3歳クラシック二冠を達成したドゥラメンテ(牡3歳/美浦・堀宣行厩舎)は、放牧先である北海道安平町のノーザンファーム早来において、両橈骨遠位端骨折を発症していることが判明しました。全治には6か月程度を要する見込みですが、厩舎では来年春の復帰を目指して調整するとしています。

●レオアクティブの競走馬登録抹消

2011年京王杯2歳S(G II)などの勝ち馬レオアクティブ(牡6歳/美浦・杉浦宏昭厩舎)は、7月1日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は35戦4勝で、今後は地方競馬に移籍する予定です。

●払戻金を上乗せする「秋の最終馬連」実施

9月12日(土)から10月18日(日)の期間、JRA全場の最終第12レースの馬連を対象として、通常の払戻金に売上げの5%相当額を上乗せする「秋の最終馬連」が実施されることとなりました。4回中山と4回阪神の1日から9日、4回東京と4回京都の1日から5日、3回新潟の1日および2日にあたり、計30レースが対象となります。

●京都競馬場の駐車場で「木下大サーカス」を開催

京都競馬場開設90周年事業の一環として、世界3大サーカスの一つである木下大サーカスによる「奇跡のホワイトライオン世界猛獣ショー☆木下大サーカス京都公演」が、京都競馬場駐車場の特設会場で開催されます。期間は7月18日(土)から9月23日(祝・水)までで、公演期間中もパークウインズの営業は通常通りおこなわれます。プログラム、入場料、休演日等については木下大サーカスの公式ホームページでご確認ください。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●スパーキングレディーCはトロワボヌール、サンピスタは3着

スパーキングレディーC(ホクトベガメモリアル)(Jpn III、7月1日、川崎、1600円)は、4番手を進んだ2番人気のトロワボヌール(戸崎圭太騎手、牝5歳、父バゴ)が、逃げた3番人気の昨年の覇者サウンドガガをゴール前で内から差し切り、クイーン賞に次ぐ2度目の重賞制覇。単勝1.4倍という圧倒的な支持を集めたサンピスタは差のある3着、初ダートのメイショウマンボは6着に敗れています。

●重賞勝ち馬第1号はタイニーダンサー、各地の主要2歳重賞

今年全国初の2歳重賞、栄冠賞(6月30日、門別、1200円)は、後方から内を通過して追い上げた5番人気のタイニーダンサー(牝、父サウスヴィグラス)が残り100円で抜け出し、3馬身差の楽勝を収めました。

●ジャパンダートダービーはクロスクリーガー対ノンコノユメ

ジャパンダートダービー(Jpn I、3歳、7月8日、大井、2000円)は、クロスクリーガーとノンコノユメが双璧、以下ディアドムス、ボムフィリア、ライドオンウインドの順に有力視されます。他にJRAからはマイネルサクセサーが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●第150回愛ダービーは断然人気のジャックホップスが圧勝

アイリッシュ・ダービー(G I、芝1200m)は6月27日にカラ競馬場で行われ、1番人気のジャックホップス(牡3歳、父ホーリング)が3番手追走から抜け出し、ストームザスターズに5馬身の差をつけて圧勝しました。これで5戦3勝、重賞初勝利。良馬場の勝ちタイムは2分34秒93。勝利騎手W.ピュイック、調教師J.ゴスデン(英)、馬主ゴドルフィン。3着のジョヴァンニカナレットまで、英ダービー2~4着馬がそのまま入線しました。

●凱旋門賞3連覇を目指すトレヴ強し~サンクルー大賞を快勝

パリのサンクルー競馬場で6月28日に争われたサンクルー大賞(仏G I、芝2400m)は、断然人気のトレヴ(牝5歳、父モティヴェイター)が4番手の外から差して快勝。勝利騎手T.ジャルネ、調教師C.ヘッドマーレック、馬主アルシャカブレレーシング。これで今季2連勝とし、凱旋門賞3連覇へ順調そのもの。1馬身1/4差2着はG I・2勝のフロントシャー、3着は今年初のドバイ・シーマクラシック(G I)を制したドルニヤでした。